

## 沖縄尚学が頂点



### ウェルネスに3-0 夏の甲子園10度目出場



ウェルネス沖縄―沖縄尚学 1回1死、先制点のきっかけとなる三塁打を放つ  
沖縄の糸数幸輝 16日、沖縄セルラースタジアム那覇(大城直也撮影)

夏の甲子園出場を懸けた第105回全国高校野球選手権記念沖縄大会の最終日は16日、那覇市の沖縄セルラースタジアム那覇で決勝を行い、沖縄尚学がウェルネス沖縄に3-0で勝利し、2年ぶり11度目の頂点に立った。沖縄尚学の全国選手権大会出場は2年ぶり10回目。また、代表校決定は全国一番乗りとなった。

今大会、沖縄尚学は第2シードとして、2回戦から登場。2回戦はコザに9-2の七回コールドで勝利。エナジックとの3回戦は降雨のため2日間に及んだ継続試合となったが、3-0で逃げ切った。準々決勝はKBC未来に9-0の八回コールドで勝利。準決勝は宮古の追い上げもあったが5-2で逃げ切り、決勝に進出していた。

決勝では、沖縄尚学は一回に糸数幸輝が左中間への三塁打を放つ。続く玉那覇世生の一塁へのゴロの間に糸数が生還し先制。四回には1死一、三塁のチャンスで佐野春斗が三塁への内野安打で1点を加え、八回にも追加点を挙げた。投げては先発の東恩納蒼が、ウェルネス沖縄の打線を抑えて逃げ切った。

沖縄尚学が出場する第105回全国高校野球選手権記念大会は8月6日から、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で行われる。



沖縄尚学―宮古 決勝進出を決め、校歌を歌う沖尚ナイン  
11月15日、沖縄セルラースタジアム那覇 (小川昌宏撮影)



沖縄尚学―宮古 5回1死一、三塁、スクイズを決める沖尚の  
佐野春斗=15日、沖縄セルラースタジアム那覇 (小川昌宏撮影)



ウェルネス沖縄―沖縄尚学 力投する沖尚の先発・東恩納  
蒼=16日、沖縄セルラースタジアム那覇 (小川昌宏撮影)



沖縄尚学―宮古 3回1死満塁、沖尚・佐野春斗  
の右犠飛で生還する三走の玉那覇世生=15日、沖  
縄セルラースタジアム那覇 (小川昌宏撮影)



琉球新報のお試し読みキャンペーン

申し込みはこちらのQRコードから！